



# マッカイ市に行ってきました！

## —第 22 回松浦市青少年親善使節団—

8月3日から9日までの7日間、「第22回松浦市青少年親善使節団」が松浦市の姉妹都市であるオーストラリアのマッカイ市を訪問しました。

訪問したのは、市内の中高生 15 人と引率者 2 人。滞在中は、ホームステイや学校訪問などを体験し、マッカイ市民との交流を深めました。

### 青少年親善使節団の ひとこと感想

川浪 さくら (松浦高校2年)

私が一番楽しいと感じたのは、ブッシュダンスパーティーです。マッカイの人たちと文化の違いや言葉の壁も忘れてダンスや食事をし、心の底から楽しい！と思いました。

岩本 真由 (猶興館高校2年)

今回のオーストラリア訪問で、伝えようとするこの大切さや、コミュニケーション力の大切さを知ることができました。

前田 麻理佳 (弘学館中学校2年)

言葉はうまく通じなくても、笑顔はその場を明るくし、お互いを幸せにさせます。あらためて笑顔って大事だなと思いました。



▲ ダンパー (堅パン) 作り



▲ ラミントン (菓子) 作り

大石 歩実 (御厨中学校3年)  
マッカイ市役所に入ると、松浦市から贈られた凧があり、マッカイの人は、松浦市との繋がりを大切にしているんだなあと感じました。

松坂 波南 (御厨中学校3年)

夕食後、ホストファミリーとゲームをしたり、遊んだり、話をしたりすることがとても楽しかったです。

七種 未咲 (御厨中学校3年)

初めてのホームステイで、初めは緊張や不安がありました。でも、毎日一生懸命に話をしていくと、家族の人たちと仲良くなることができました。

井村 宇志 (志佐中学校3年)

すべてが初めてで、不安がたくさんありましたが、現地の人の優しさや、挑戦が大事だという気持ちで、乗り越えることができました。



▲ パイオニア・ハイスクール訪問



▲ ブッシュダンスパーティー



▲ アボリジニの文化体験



▲ サリーナ・ハイスクールの農業コース見学



▲ クリケットに挑戦



▲ アボリジニの「ディジュリドゥ」という楽器演奏体験

吉田 春輝（志佐中学校2年）  
マッカイでは多くのことを学び、知ることができました。この体験をこれからの生活に生かしていきたいです。

藤原 伊織（志佐中学校2年）  
もっと英語を勉強して外国人と会話をしたいと思ったので、今の気持ちをお忘れず、将来もう一度マッカイに行きたいです。

北川 夏樹（志佐中学校2年）  
一番大変だったことは、英語での会話、コミュニケーションをとることでした。行く前に僕がもっと英語を勉強しておけば、相手に手間を取らせなかったと思います。

橋本 竜一（志佐中学校3年）  
ホストファミリーは、いつも優しく、良い人たちで、料理もとてもおいしかったです。

渡口 騎亜（今福中学校2年）  
国境の壁を越えて、ここまで心が通じ合えたことはすごいことだと思います。マッカイ市と姉妹都市になれた奇跡に感謝したいと思います。

田中 美江（今福中学校2年）  
この親善使節団として行ったことは、一生の思い出だし、とてもいい経験でした。この使節団をこれから先もずっと続けてほしいと思いました。

瀬浦 愛翼（今福中学校2年）  
ホームステイでは、自分も家族の一員になって、優しくいろいろなことを教えてもらいました。

荒木 薫乃（今福中学校3年）  
マッカイに行って最初に思ったのは、土地がとにかく広いということです。道路も家もとても広くて驚きました。